

1. 工事名 筑波大学街路樹石目東大通り東植栽工事
1. 工事位置 筑波大学新沼村天王台1丁目1番1号 筑波大学構内(別紙位置図参照)
1. 工事期間 着工 昭和59年2月3日 しゅん功期限 昭和59年3月27日
1. 工事内容等
  1. 新規工事

図面番号	施行場所	樹 高 (cm)										計		
		20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-99	100-109	110-119			
	街路樹										50	17		67
	東大通り東						20	30	70	60	50			230
	計						20	30	70	110	67			297

ロ. 養生 その他

図面番号	施行場所	本数	バーク堆肥		造成腐肥		客土		養生		計
			100%	50%	100%	50%	100%	50%			
	街路樹	67	227	235	17				50	17	67
	東大通り東	230	280	290				70	60	100	230
	計	297	507	525				70	60	150	297

特記仕様

1. 本工事実施の種等ならびに方法については 文部省発注工事請負契約規則、契約書、土木工事標準仕様書、特記仕様書及び図面にもとずくものとする。 実施の細部等は図面等に記載あるときは 甲が通知した監督職員(以下「監督職員」という)の指示に従うこと。

イ. 植栽工事

- ・植栽を始める前に 植栽区域及びその周辺ゴミ、コンクリート塊等植栽に支障のあるものは すべて

除去し 指定されたところ(深<sup>(注1)</sup>21cm以上)に埋める処理をすること。 また 植栽の凹凸(凹凸)を監督職員が指示により整地すること。

- ・バーク堆肥、造成腐肥、客土の処理は1ヶ所にまとめて一括処分すること。
- ・既設構造物、樹木等に損傷のないように充分注意すること。 もし損傷の場合は 監督職員に連絡の上 請負者の責任において修復すること。

植穴

- ・樹木の植栽位置は 図面にもとづいて定め 右標等により位置を確認すること。
- ・植穴の最低埋土法は別表(総括表)に示す。 植穴間には可能限り斜起しておくこと。
- ・植穴は 機械掘りを原則とするが 指示のあるや植穴(手掘り)とする。 工事中は 通行人あるいは他車輛に対し安全策をとること。
- ・掘上げた土は 埋戻しの土と除き 近くに敷均しするものとする。

樹木の取り扱い

- ・新規樹木は 請負者の持ち込みとする。 すべて根鉢つきとし 幹の大きさは 根元直径の5-6倍以上とし 根元にはフタで堅固に保護したるものとする。
- ・幹巻きは 一般仕様により行うものとする。
- ・目通り径20cm以上の根巻きは クラ巻きやう之 回し株二度巻き以上とする。

植付

- ・バーク堆肥、造成腐肥の施肥量は 別表(総括表)による。 施肥量は 植穴底を2cm掘り、ここに1/3量と混和し 残りの量は 埋戻し用土と充分混和し 植付のものとする。
- ・埋戻しは 粘土・砂利の混入を極力避け 深植を心がけ 留置し バーク堆肥、造成腐肥を埋戻した土と根鉢を充分混和するものとする。 植栽後 水鉢を作り 充分灌水するものとする。
- ・客土は 粗土とし 請負者の持ち込みとする。

ロ. 保護・養生

- ・各樹木の風除支柱は 別表(総括表)による。 取付仕様は 別図(2-5)による。 支柱長尺については スズ・ヒノキとし CCA加工品とする。
- ・街路樹の支柱間の結束は 世帯引鉄線φ16φ中18とする。 その他は 監督職員の指示による。
- ・支柱の方向については 監督職員の指示によること。

ハ. その他

- ・植栽を終った樹木周辺の清掃は その都度行うこと。
- ・バーク堆肥は 良く発酵したものを使用すること。 また使用に際しては 造成腐肥も20kg入りのもので使用する。 品質証明書と監督職員に提出して承諾を受けること。

ニ. 植補償

- ・植補償については 文部省土木工事標準仕様書によること。

ホ. 工事記録器具

- ・工事記録器具は 次のものを提出すること。

区分	大きさ	種類	枚/組	組
着工前写真	キャビネット	27-		1
工事写真	キャビネット	27-		1
しゅん功写真	キャビネット	27-		1

(注) 着工前、しゅん功写真は 同一場所から 同一方向を撮影し 裏面に工事年度、工事名、撮影した所を記入し 撮影方向を明示した図面に添付すること。

- ・工事写真は 撮影した樹木判別するように 樹木にラベルをつけておくこと。 また図面上で 撮影樹木を明記したものも提出すること。
- ・写真は 指定したアルバムに 施行区域のものは 施行樹木毎に整理して提出すること。

総括表

記号	樹木名	規格			本数	幹元直径	根元直径	バーク堆肥(%)	造成腐肥(%)	客土	養生	支柱	備考	
		H	C	W										
	ツバメガシ	30	015	10	20	0	86	41	2 <sup>00</sup>	40 <sup>00</sup>	0 <sup>02</sup>	0 <sup>00</sup>	=脚	街路樹
	アロギア	35	020	10	20	0	104	51	3 <sup>00</sup>	60 <sup>00</sup>	0 <sup>03</sup>	0 <sup>00</sup>		
	シラカシ	40	025	12	50	0	120	60	4 <sup>00</sup>	22 <sup>00</sup>	0 <sup>07</sup>	2 <sup>00</sup>	=脚	街路樹
	アサギ	40	020	15	20	0	104	51	3 <sup>00</sup>	60 <sup>00</sup>	0 <sup>03</sup>	0 <sup>00</sup>	=脚	東大通り
	ヤマモモ	35	030	12	20	0	130	70	6 <sup>00</sup>	120 <sup>00</sup>	0 <sup>07</sup>	1 <sup>00</sup>		
	イチョウ	45	025	18	20	0	120	60	4 <sup>00</sup>	90 <sup>00</sup>	0 <sup>05</sup>	1 <sup>00</sup>	=脚	東大通り
	イロハモミジ	30	018	15	20	0	92	45	2 <sup>00</sup>	40 <sup>00</sup>	0 <sup>03</sup>	0 <sup>00</sup>	=脚	東大通り
	ケヤキ	50	030	25	17	0	180 <sup>00</sup>	100	6 <sup>00</sup>	102 <sup>00</sup>	0 <sup>05</sup>	0 <sup>00</sup>	=脚	街路樹
		50	030	25	30	0	180	70	6 <sup>00</sup>	180 <sup>00</sup>	0 <sup>05</sup>	1 <sup>00</sup>	=脚	東大通り
	ハルニレ	40	025	10	10	0	120	60	4 <sup>00</sup>	45 <sup>00</sup>	0 <sup>05</sup>	0 <sup>00</sup>	=脚	
	モミジ	35	018	12	10	0	92	45	2 <sup>00</sup>	28 <sup>00</sup>	0 <sup>03</sup>	0 <sup>00</sup>		
	トウカエデ	40	020	20	20	0	104	51	3 <sup>00</sup>	60 <sup>00</sup>	0 <sup>03</sup>	0 <sup>00</sup>		
	トチノキ	40	020	10	10	0	104	51	3 <sup>00</sup>	30 <sup>00</sup>	0 <sup>03</sup>	0 <sup>00</sup>		
	アラブナス	45	025	20	10	0	120	60	4 <sup>00</sup>	45 <sup>00</sup>	0 <sup>05</sup>	0 <sup>00</sup>		
	シラカシ	40	025	12	20	0	120	60	4 <sup>00</sup>	90 <sup>00</sup>	0 <sup>05</sup>	1 <sup>00</sup>		
	計				297					1207		12 <sup>25</sup>		